

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年5月検出分；検体採取 令和6年4,5月)

令和6年6月14日

鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体はなかった。臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体1件（検体採取5月上旬）について検査を実施したところ、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	0	
12月23日	西部	1	0	1	0	0	0		
2024	1月17日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	0	
	1月22日	中部	1	0	0	1	0	0	
	2月5日	西部	2	1	0	0	0	1	
	2月6日	西部	1	0	0	1	0	0	
	2月15日	西部	1	0	0	1	0	0	
	3月2日	西部	1	0	1	0	0	0	
	3月4日	西部	2	1	0	1	0	0	
	3月5日	西部	1	0	1	0	0	0	
	4月10日	西部	1	0	0	1	0	0	
	4月16日	西部	1	0	0	1	0	0	
	4月24日	西部	1	0	0	1	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			34	9	16	8	0	1	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（6月4日作成）によると、2023/24 シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1)pdm09型が検出されている。第1週以降、Bビクトリア系統の検出割合が増加している（図1）。

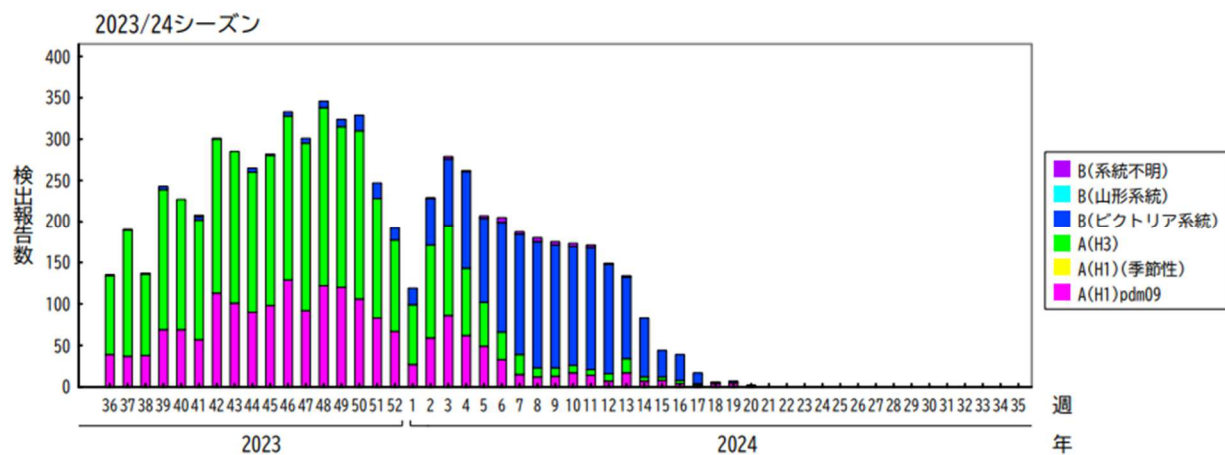


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2024年6月4日作成）

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について検査を行ったところ、1検体からアストロウイルスが検出された（3検体からは未検出）。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス40/41型	アストロウイルス
240012	4月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
240013	4月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出
240014	4月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
240015	4月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
検出計		0件	0件	0件	0件	1件	1件

(-)：未検出

## 3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件（検体採取4月下旬（検体番号20240422-1））について検査を実施したところ、アデノウイルス(B種)が検出された。